

でんでんくん



あぶみ先生



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

発行：きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

「理解」から「実行」へ

特別支援教育アドバイザー 佐藤 淳



「きこえとことば支援センター」では、1月までに「難聴理解研修（教職員向け）」「難聴理解学習（児童生徒向け）」をそれぞれ14校園で実施しました。多くの校園から依頼がありましたことをうれしく思います。

実施後の教職員の皆さんや児童生徒の感想に、私も目を通しています。その中の一つ「考えられる支援」を見ても、擬似体験を通してたくさんの具体的で妥当な方法が出されていて、「理解」が深まったことが分かります。

さて、気になるのはその後です。“こうしたらいいんだ”と気付いた配慮や支援を『実行』しているのでしょうか。「理解」に留まっていないのでしょうか。

あるテレビ番組で、インクルーシブ教育の実践例として大阪府の小学校が紹介されていました。ある通常の学級では、障害のある児童3名と一緒に授業を受け、生活をしています。肢体不自由の児童が体育科の授業に参加できるように、学級の子どもたちが話し合っけて競技（ドッジボール）のルールを一部変更して行いました。また、弱視の児童が学校行事に参加できるように、学級の子どもたちが話し合っけて出し物（ダンス）の練習方法を考え、成功させました。インクルーシブ教育がうまくいくためには、教師が必要な配慮・支援を『実行』すること＋学級の子どもたち（障害のある児童本人も含め）が話し合っけて一緒に活動できる方法を考え『実行』すること、が大切なのだと気付かされました。「理解」に留まらず『実行』に移していくことが大切なのだと思われた次第です。

新年度の「難聴理解研修」「難聴理解学習」の依頼が、すでにくつか届いています。インクルーシブ教育のさらなる進展を期待しています。

今年度のセンター的機能の取組について

本校は、全県の難聴の子どもたちを対象に、ニーズに応じた支援を行っております。今年度もたくさんの子どもたちや先生方にご利用いただき、ありがとうございました。

理解学習では、事後の感想から「補聴器（人工内耳）をつけていても全部聞きとれるわけじゃないことが分かった」「友だちの気持ちを考えて話したい」等、学級の子どもたちに変化が見られ、難聴児童の安心感にもつながっているようです。

また、昨年度までは地区別で行っていた難聴児童交流会でしたが、今年度は県内各地の児童、保護者、担任の先生が聴覚支援学校に一斉に集い、出会いと仲間づくり、情報交換の場として好評でした。

次年度のセンター的機能のご案内も送付しております。必要に応じてどうぞお声掛けください。

難聴理解学習	15校
職員研修	15校
難聴児童交流会	18人（児童）
サテライト教室（北・南）	15人
定期教育相談・通級指導	22人

令和6年2月末現在 実施・利用数

センター的機能の実践紹介～難聴理解研修(職員向け)～

職員研修は、擬似体験を通して先生方が聞こえにくいことを理解するだけでなく、難聴児童生徒に対する適切な関わり方のモデルを示すことにも役立ちます。難聴児童生徒とその周囲の児童生徒とのより良い関わりにつなげられるように、きこえとことば支援センター職員が、県内各地に伺って実施しています。



1年部の職員です。児童はもちろん保護者も不安と期待の気持ちで入学してくると思うので、少しずつ慣れて安心してもらえるよう準備していこうと思いました。(能代市A小学校)

～研修後の感想から～



擬似体験をして、初めて聞こえないことの心理面を感じることが出来ました。その困り感にどのように支援していくのかも、とてもよく分かりました。(湯沢市立B小学校)

一年のまとめ・新年度に向けて

年度末になり、引継ぎ資料について準備している時期かと思います。今年度の取組について、本人や保護者、関係職員と確認の上、4月から順調なスタートが切れるようにしましょう。

関係職員 ⇄ 担任 ⇄ 本人 ⇄ 保護者

- ◆難聴学級、交流学級で学習する教科の選定
- ◇自立活動の時間設定
- ◆補聴器等の自己管理(学校、家庭)
- ◇座席、席替え
- ◆交流学級での聞こえ(先生の話、友だちの発表)
- ◇校内放送やCD、DVD教材使用時の聞こえと理解
- ◆難聴理解学習の計画
- ◇補聴援助システム(ロジャー等)の使用、やり取りの工夫

【引き継ぎ資料】〈例〉

- 個別の支援計画 (合理的配慮の評価等)
- 個別の指導計画 (→手立ての記入)
- 最新のオーディオグラム
(裸耳と補聴器等装用時の測定結果)
- 補聴器等のデータ
- 諸検査資料
- 面談の記録
- 医療機関とのやり取りに関わる記録

毎年在籍校の先生方からお問い合わせいただく「補聴援助システム(ロジャー)」について、操作・活用方法を具体的に紹介したオリジナル動画を制作しました。聴覚支援学校ホームページ(「きこえとことば支援センター」→「リンク」一覧)からご視聴いただけます。

ホームページQRコード



お知らせ サテライト教室、教育相談(定期)について

継続利用をご希望される場合は、保護者と相談の上、申込書の早めの提出をお願いします。施設の予約等の都合上、**4月8日(月)を申し込み締切**にしております。初めて利用を検討される方は、電話等でご相談していただいてもかまいません。「詳細について聞きたい」、その他ご不明な点がありましたら、下記までご連絡をお願いします。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)【直通携帯電話】090-8784-6302
【聴覚支援学校】〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号 TEL: 018-889-8572
FAX: 018-889-8575 E-mail: chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp

こちらは難聴児童生徒のご家庭へ配付をお願いいたします

聴覚支援学校・きこえとことば支援センター 令和6年度 主な行事のご案内

以下の行事は、県内の難聴のお子さんおよび保護者の皆さまに参加を呼び掛けております。期日が近付くと在籍学校にご案内を発送いたしますので、ぜひご参加ください。

なお、3月現在の予定であり、この先変更となることもございますのでご了承ください。

7月6日(土) 難聴児童交流会〈午前〉

県内の小学生を対象とした交流会です。
併せて保護者の情報交換会も例年行っています。

ご参加をお待ち
しています!



補聴相談会〈午後〉

補聴器業者が来校し、補聴器点検、耳型どり、補聴器の試聴等を行います。
また、言語聴覚士の教員が聴力測定を行います。

8月17日(土) 一側性難聴児童・生徒の集い

一側性難聴のお子さんを対象とした交流会です。



9月10日(火) 北の難聴児童交流会〈午後〉

県北地域に住む小学生を対象とした
交流会です。[場所：北秋田市内]

12月13日(金) 先輩と語る会

本校の卒業生が、職場での経験
や高校時代の取組について体験
談をお話します。

9月26日(木) 高等部・専攻科説明会 9月27日(金) 中学部説明会

本校の概要を説明します。希望に応じて寄宿舎見学
や教育相談も行います。

5月18日(土) 運動会 10月26日(土) 学習発表会

本校の行事の様子を
ご覧いただけます。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)【直通携帯電話】090-8784-6302

【聴覚支援学校】〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

TEL: 018-889-8572

FAX: 018-889-8575

E-mail: chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp

本校ホームページで、さまざまな情報を発信しています。

ホームページQRコード

